

南相馬市博物館平成28年度特別展「櫻井先生のあつめた浜通りの花々 ～櫻井信夫 半世紀、一万点の押し花標本・写真コレクション～」福島大学ステージ

報告

(福島大学資料研究所主催事業)

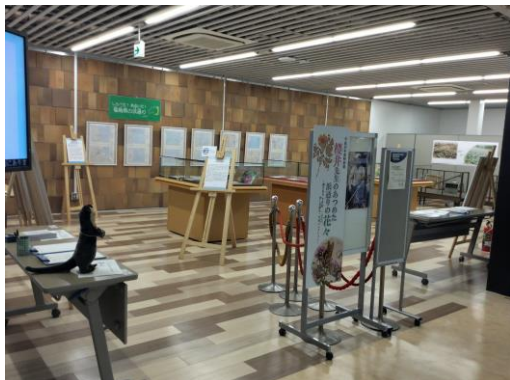
黒沢高秀

地域の自然を研究する研究家の熱意，震災で行われた標本レスキュー作業の様子やそれに関わった人々の想い，貴重資料の整理や保管に果たした大学の役割，資料に基づいた研究成果などを，福島大学から地域に向けて発信することを目的に，南相馬市博物館平成28年度特別展「櫻井先生のあつめた浜通りの花々 ～櫻井信夫 半世紀，一万点の押し花標本・写真コレクション～」福島大学ステージ（共催：南相馬市博物館）が2017（平成29）年4月17日（月）から5月8日（月）に福島大学附属図書館1階展示スペースで開催されました。南相馬市博物館の特別展がほぼそのまま再現され，震災前の福島県の海岸の植物標本や，観察した植物の状況を細かく記した地形図の複製，植物写真のパネルなどが展示されました。

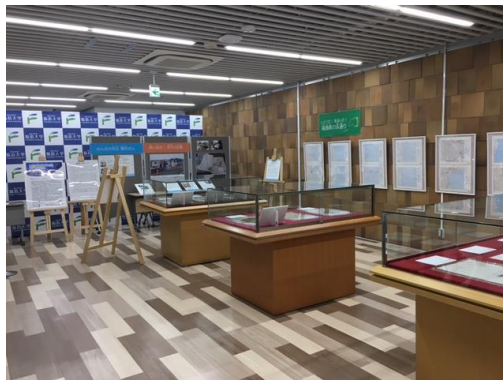
学内外から多くの人々が訪れ，そのうち記帳をした人は主催関係者（研究所メンバーとその研究室学生・ゼミ生）37名，主催関係者以外の学内から61名，学外32名の合計130名にのぼりました。福島民友4月21日版に記事が掲載されたほか，福島県立美術館の伊藤匡氏が連載している「みんゆう随想」に取り上げられました（5月2日，レスキューされた植物標本）。

本展示にあたり，南相馬市博物館は全面的に協力をして下さいました。櫻井信夫先生は貴重な標本を大学に寄贈して下さい，展示にご理解を賜りました。福島大学図書館は展示エリアや機材の使用に多大なる便宜をはかって下さいました。約1万点の標本や写真の整理は，三井物産環境基金研究助成をうけて行われ，標本レスキューの一部はFURE福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの活動の一環として行われました。以上の関係者に，心より御礼申し上げます。（2017年5月11日）

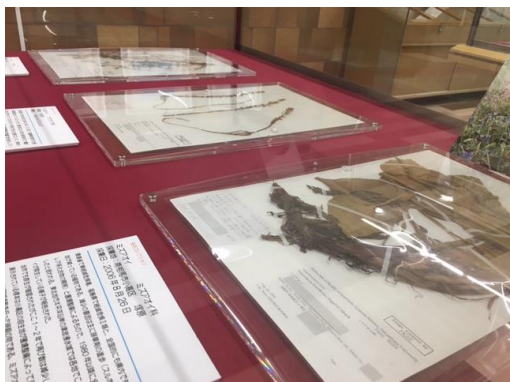
展示の様子



エントランス



全体



植物標本



メモ入り地形図（複製）



植物写真パネル



採集道具



野帳・出版物



展示解説会（5月6日）